

PHILIPPINES

フィリピン

メトロマニラ貧困地域電化事業

評価報告：1999年3月

現地調査：1998年9月

評価実施者：早稲田大学アジア
太平洋研究センター 菊地靖教授

厳密には、評価時点で本事業は貸付実行期間中であったが、既に当初計画の電化戸数は達成していたこと、L/A額の95%は貸付実行済であったこと、さらには、第三者評価の視点である社会的インパクトの検証はその時点でも十分に可能であったことを踏まえ、評価を実施した。

1 事業の概要とOECFの協力

(1) 背景

マニラ首都圏における貧困層は、約300万人（1985年）、その所得は月650ペソ程度（首都圏全体の平均所得の1/7程度）と推定されていた。さらに、マニラ首都圏では、貧富の格差のみならず、地方から流入してきた農民等による不法占拠が大きな問題になっていた。それら貧困層住民の住居は、有り合わせの材料で作られた建物であり、上下水道等の基本設備はほとんど整備されておらず、電化率も低い。マニラ電力会社（MERALCO）の調査によれば、当時、これら地域で正規に電気の供給を受けている世帯は25%程度に過ぎなかった。その他は、敷設にあたっての施設費（600ペソ程度の預託金）が支払えないため、石油ランプ等により生活するか、盗電したり、違法な転売業者から割高の電気を買っていたが、違法業者の拙劣な接続処理や盗電により電力ロスが生じ、かつ火災の原因ともなっていた。

(2) 目的

本事業は、マニラ首都圏の貧困地域の内、優先的開発地域229カ所、約234,000戸に対して、安全、廉価かつ信頼性の高い電力供給を行い、その福祉向上を図るものである。



(3) 事業範囲

本事業は、配電資材（電柱、配電線、変圧器、電力メーター等）の調達と、配電工事から成っている。OECF借款対象は、総事業費の外貨分全額および内貨分の一部である。

(4) 借入人／実施機関

フィリピン共和国／国家電力庁（NEA）

(5) 事業費、借款契約調印、貸付完了

貸付承諾額／実行額	5,066百万円／4,812百万円
交換公文締結／借款契約調印	1988年12月／1990年6月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年（うち据置10年）一般アンタイド
貸付完了	（1999年10月貸付完了予定）

2 評価結果

本評価では、これまでのOECFの事後評価ではみられなかった社会人類学的視点からの評価を行った。その結果、当初期待されていた事業効果、すなわち主に地方からマニラ首都圏に流入した都市貧困層（不法占拠者）に対し、安全・廉価で信頼性の高い電力が提供されていること、またこれに伴い、火事の減少（ガスランプから電灯へ）、生活の向上（家電製品による家庭内労力軽減など）が図られていることが認められた。更にこれに加え、本事業がフィリピンにおける新しいコミュニティ形成に大きくかかわっていることが明らかになった。

フィリピンにおけるコミュニティは、血縁関係を中心に形成されるのが普通であるのに対し、本事業が実施された地区では、むしろ政治的地縁関係を軸にコミュニティが形成されているというのである。これは、本事業による電化の恩典を受けるためには、地区住人合意の下で電化の申請を行い、かつ最寄りの既存配電線から地区の中心部までの配電線（電柱と電柱用の土地を含む）は、地区として負担する必要があるため、地区住人は、その血縁関係にかかわらず、政治的リーダーシップのある人間を中心にコミュニティを形成することになったためと考えられる。

本事業では、もともとコミュニティの形成は視野に入っており、実際に事業の実施にあたったマニラ電力会社は当初よりこれを前提として住民に電化事業を提案している。しかしながら、今回の第三者評価を通じて明らかになった前述のようなコミュニティの形成は、これまでフィリピンではみられなかった、「血縁関係を超越して、社会的次元の利益獲得のために、各自が組織人となって共同体を形成する」というものであり、社会人類学的にみて興味深いものといえよう。なぜなら、こういった事象を境に、国や社会は、これまで人々が主に血縁関係者から受けていた庇護を、血縁関係者に代って提供する責任を負うようにならざるを得ず、ひいては国という明確な概念の形成、すなわち国民の認識が国家レベルへと発展していくものと考えられるからである。

主要計画／実績比較

(1) 事業範囲	計 画	実 績*	差 異
	234千戸	310千戸	+76千戸
(2) 工期（調達～完工）			
	1990年10月～1995年12月	（1990年10月～1999年10月予定）	
(3) 事業費			
外貨 （基金分）	2,049百万円 （2,049百万円）	3,480百万円 （2,845百万円）	+1,431百万円 （+796百万円）
内貨 （基金分）	601百万ペソ （479百万ペソ）	402百万ペソ （296百万ペソ）	-199百万ペソ （-183百万ペソ）

*実績は1999年3月末現在。
[換算レート] ペソ/US\$ = 21ペソ、円/US\$ = 133円、円/ペソ = 6.3円



電化された地区



本事業によって取り付けられたメーター



本事業の実施によって電気が通るようになった学校（集会所としても利用される）